

センサーで作業員見守り

アイフォークム 温度・脈拍など測定



システム開発のアイフォークム（相模原市）は、屋外や工場などで働く作業員を見守るシステムを開発、発売した。体に装着したセンサーで作業員の回りの温度や湿度、脈拍、動きを測り、異常が

あれば現場監督や安全管理者のスマートフォン（スマホ）やパソコンに知らせる。特に熱中症では熱ストレスを評価する指数と照らし合わせ迅速に対応できるようにした。

センサーをヘルメットや帽子、手首に取り付け、作業員が感じる温度と湿度を測定。熱ストレス評価の「暑さ指数」から作業員が熱中症にかかる危険度を算出する。一定の基準を超えた場合、現場監督や安全管理者に通報する。

体の動きを加速度計でつかみ、通常の動きと異なり、倒れたり落ちたりする動きをした場合に通報する。装着センサー、制御・管理ソフト込みのシステム価格は200万円。このほかセンサーを取り付ける作業員1人に

つき月2500円の使用料がかかる。厚生労働省が2011

〜15年度に調べた熱中症死者の業種別状況は建設、製造業、運送業の

順が多い。これら3業種に限らず警備業や商業、農業でも死傷者がいる

ムは幅広く利用を呼びかける考えだ。

ける考えだ。